



福岡動物病院看護士学院

Academy of Fukuoka Veterinary Technicians' Newspaper

学院生活情報誌 2009年 6月号

Vol. 51

発行
第 1700051

〒812-0027
福岡市博多区下川端町 8-13
電話 0120-391-700
福岡動物病院看護士学院
企画・編集部



ワンコのおやつ屋さんを 始めます!

現在カタログを作成中です★
クッキー・羊羹・ぼうる
・だんごetc.種類もた
くさんあるよ!
ご注文頂いてから
お作りいたします。



←ハートのクッキー

→プレゼントにいかがですか。



Q&A

「喰うか喰われるか」

学院長 牧田登之

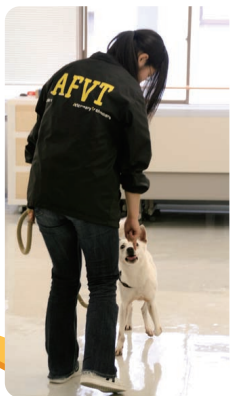
喰うか喰われるか、弱肉強食、などと言って野生動物の世界の厳しさを指摘されることがしばしばです。例外はありますが、これは肉食動物と草食動物の事かと大雑把に分けてみることが出来るかもしれません。では、草食動物はいつも喰われる側で可哀相な連中で、肉食動物は弱い動物に狙いをつけて襲いかかる酷い連中かというところ、動物行動学という目下流行の視点からみるとなかなかそうとは言い切れないようです。野生動物はさておいて、家畜だとか飼育動物を例にとりて、馬、牛、羊、山羊、兎などを喰われる側の動物、犬とか猫はネズミ等を食べる方の動物に見立てたとしますと、まず草食動物は数多くの仲間が群れをなしており、ひたすら草を食べ続けます。消化器の配置のこともあって、なかなか寝転がって食べるわけにはいきません。いつ襲われるかもしれないので、のんびりしているようでも結構用心をされていて、周囲に警戒を怠っていないのです。一方、襲う側も獲物にありつくためには並々でない忍耐をして待ち伏せをしていますし、これほど狙いを定めると執拗に追いかけて、全速力で襲いかかります。これがまたいつも成功するとは限らないので随分待つようです。ネコはネズミの通る穴をみつめて、何時間も待ちかまえます。おかげでネコは、子供や老人のそばにじっとして飽きる気配を見せません。家畜に限らず、オオカミは鹿を食べることによって、山野の森林の鹿による被害をコントロールしているのだそうです。数的にいつでも優位に立っている筈の食べる側は、食べられる側よりもいつも少数派なのです。比喩が飛躍しすぎると思いますが、かつて日本の軍隊が中国の農村に襲いかかっても、結局どちらが勝ったかと言えばやられたとみえる側の人々なりました。動物の世界でも一日中モグモグ草を食べている牛や羊が、追い立てられている牧羊犬に負けているとは言えないのです。

更に比喩を広げて見ます。動物病院での立場から言うと獣医師の先生方はオオカミで、動物看護師はヒツジと言えます。しかし、オオカミ先生は、結局看護師たちに圧倒的な優位に立っているとは言えないのです。お分かり頂けたでしょうか？





「ここにチュッ☆ってボク分かってるよ!」とベッキー。



「遊び」は大好きなレオに集中してもらうのは大変ですが、「ゲーム」は楽しい?

2年生 ドッグトレーナー学に潜入

犬に指示通りに動いてもらうための基礎訓練をしていました。講師の河野先生がまずはお手本。先生が手を出すと軽く鼻先でタッチ。それを「ゲーム」のように犬たちに教えていきます。



突撃! 学院の授業中!!

前期の講義も半ばに差しかかり、ようやく中間試験も終えたばかりの学院ですが、学生たちは日々進化を遂げています。つい先日はコームの使い方を練習していた1年生が、覚束ないながらもグルーミングが出来るようになり、真剣な表情でバリカンを握っています。2年生も就職を控え、実践的な講義が大半を占めています。

1年生

グルーミング・トリミングに潜入

愛犬「ミミちゃん」をトリミングする樽本早希子さん。バリカンを握る手にも愛情がたっぷり☆

ドキドキしながらも楽しむ余裕が出て来た(!?)耳掃除、まだまだ怖いけど慎重に足先のカット。



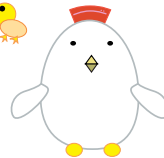
優しくしてねえ〜



この日はシェパードの「いなちゃん」が来ていました。35キロもある大型犬ですが、実はとても大人しくて気が優しい女の子です。チワワにも負けそうな「いなちゃん」ですが大型犬ということでグルーミングを断られることも多いそうです。たくさんの学生たちがいなちゃんの周りに集まりとても人気者になっていました。



動物のフクロの卵たち



こんにちは。私は鬼海愛美という者です。私は熊本県の日田市です。天草は、海がともきれいな所です。海や山、田んぼ以外に何もありませんが、人が優しくとても良いところなんです。そんな天草から大都会の福岡に来て早くも2ヶ月が過ぎました。学校での生活は、すごく充実していて、先輩や友達、事務局の方、先生方はとても優しいです。天草を出る時は、両親に多少反対されたりもしましたが、両親もきちんと理解してくれ、とても良い環境で生活を送ることができ幸せだと思えます。



動物総合学科 1年 鬼海 愛美 熊本県立 天草高等学校卒業

私の将来の夢は、ペットシヨップスタッフになることなので、動物と飼い主さんが出逢って幸せな生活が送れるお手伝いをしていきたいと思っています。

自分の夢に向かって、自分の夢を応援してくれる大切な人達に感謝しながら、頑張っていきたいと思えます。

この学院を知ったのは、高校の帰りに電車の広告を見たからです。それからオープンキャンパスに参加し、とても良い学校だと思い入学しました。この学校の良いところは、先生と生徒がみんな仲が良いことや、毎日動物に触れられることです。

授業では動物に関わる事から社会のマナーまで幅広く、日々とても勉強になります。先生は実際に現場で働いている方たちなので、実践的なことが多く将来とても役に立つことばかりだと思えます。来年からは病院実習などもあるので、頑張る今のうちに色々なことを学んで行きたいと思えます。

動物総合学科 1年 白水 亜美 福岡舞鶴高等学校卒業



初めての实習だと考えただけでも緊張して余裕がありませんでした。実習先では掃除洗濯などの他に保定やフィラリア検査、カルテやプリントの記入、処置の見学などをさせていただきました。ゴミ捨てだけでも、便などの汚物入れ、手や器具を洗った後に使う専用の紙、医療廃棄物、普通のゴミなど、もちろんな事ですが厳しく分別されていました。

実際に仕事を体験して、カルテに関しても薬品や病気に関しても知識が足りないし、保定や駆血もままならないし、場所によって治療のやり方や体制も違うのもっと応用力も必要だと感じました。時と場、臨機応変、緊急時にも備えられるような知識・技術を身に付けたいです。自分には足りないところだらけなので、知識と技術を身に付けられるように、2年での授業は経験を活かしながら、しっかり受けたいと思います。何も出来ない自分が悔しかったです！



堤成美
福岡県立八女農業高等学校
卒業
実習先：オークどうぶつ病院
けやき



樋口亮太
佐賀大学農学部卒業
実習先：ラブリー・ドッグ

ドッグカフェということでカフェがメインかと思っていたらリハビリやしつけもメインのドッグカフェでした。驚いたのが送迎の時の運転技術です。動物を乗せているときは、かなり慎重に運転しないといけないので気を使います。カフェの中でのお菓子作りやしつけも体験させていただいて良い経験になりました。掃除では細かいところまで気が回らなくて、もっと気を付けてしなければと反省。この先療養食などの栄養関係に関わるような進路を目指しているので、頑張っていきたいと思います。

ザビエルのおでき



昨年から気付いていたザビエル(リチャードソングリス)ノ♀の左前肢の付け根にある腫瘍が、少し大きくなったような気がするということで、検査を行いました。恐らく脂肪腫ではないかと昨年様子を見ていたものです。動物臨床外科学(II)を担当している前田先生に、悪性のものかどうか、また悪性の場合手術も視野に入れ検査の講義をしていただきました。吉原菜穂子さんが保定をしている間に前田先生が触診、細胞をとりディスカッション顕微鏡で細胞を確認しました。結果、細胞の中に悪性のもは見あたらずただの脂肪腫と判明。脂肪腫でもザビエル本人が気にしだした場合、腫瘍を自分でかじって炎症を起こすこともあるので手術をしないといけなくなるかもしれないけれど、小動物は手術後の細菌感染にも弱いので、とりあえずはまだ様子見で良いだろうということでした。チョットわがままで愛嬌たっぷりのザビエルにはまだまだ長生きして欲しいものです。

ザビエル…種類：リチャードソングリス 性別：メス

「リチャードソングリス」なんてカッコイイ名前ですが、「飛びつく・かじる」と男勝りな性格の上、脱走する悪癖があり、常にゲージの天井を押し上げようと頑張っている頭のハゲから、メスなのに「ザビエル」という名前をもらいました。寝ぼけているときだけ愛らしい女の子に戻ります(笑)。

ディスカッション顕微鏡

1つの顕微鏡標本を5人で同時に観察することの出来る顕微鏡です。5人で意見の討論(ディスカッション)と講師の説明の元、観察できます。



シリーズ よくある病気!

鼻に現れる症状

症状	考えられる病気、ケガ
鼻血が出る	打撲、骨折、腫瘍、血液の病気、中毒、感染症など
水っぽい鼻水	打撲、鼻炎、副鼻腔炎、いわゆる風邪など
粘り気のある鼻水	鼻炎、副鼻腔炎、風邪、蓄膿症、先天的な構造上の問題など
常に鼻をぐずぐずさせている	鼻炎、副鼻腔炎、蓄膿症など
鼻が乾いている	発熱、熱中症、花粉症などのアレルギー、構造上の問題など
鼻がきかなくなってきた	老化、蓄膿症、神経障害など
鼻をやたら地面にこすりつける	皮膚炎、異物が詰まったなど
鼻がただれる	細菌性皮膚炎、真菌性皮膚炎、アレルギー性皮膚炎など

地球上には、ウイルスや細菌などの無数の微生物が存在していて、生物に病気を引き起こす微生物も少なくありません。そのような微生物が宿主（人間や動物）の体内に侵入して増殖することを「感染した」といい、それによって引き起こされる病気を「感染症」といいます。その中で特に動物から動物へと感染して行く病気を「伝染病」といいます。

例えば、破傷風は犬の体表が土で汚れた時に、傷口から破傷風菌が侵入して起こる感染症です。ジステンパーはこの病気にかかった犬の唾液や鼻汁、尿などに触れる事で感染する伝染病です。どちらも命に関わる重大な病気ですが、ジステンパーのようにワクチンで予防できる病気も多いので、定期的な健康診断と予防接種を受ける事が重要です。

編集後記
季節感が薄いままに、6月に入りました。1年生も何とか五月病を通過して、中間試験も終わって、前期第9週目に入っています。来月の19〜20日の日本小動物獣医師会大会での学習発表もこの分ではマズマズ行けるでしょう。毎年2〜3名が研究報告をする動物臨床研究会(大阪)の申込みも迫っています。1年生の中から参加者が出てくることを待っているところです。恒例の東大牧場での研修は、先方の都合で今年は9月末〜10月初旬という日程が組めないの、(別記事にあるように)8月に消化することになりそうです。2年生はと言えば、先記の日本小動物獣医師会や日本動物看護学会の看護師認定試験対策の準備を近々スタートする事になるでしょう。対馬やマネコの現地視察は8月下旬の予定です。
今夏は、恒例のオーストラリアの研修旅行が、希望者が少ないため取りやめになりました。2年生は、昨夏も1人も行かなかつたので、今年は1年生と合同でということも考えられ、円高ドル安も背中を押していたのですが結局は希望者が居ませんでした。2年生は動物看護師以外の職種を望んでいる学生も多いようなので就活がスムーズに行くかどうか若干気になるところです。
豚インフルエンザ騒動で、福岡でも病人が出て体調を崩した学生が居ると心配になりますが、おかげで目下のところ無事なようです。梅雨が明けると一気に夏だよ、台風だぞ、ということになるでしょうが、盛夏前のひととき、一息つきながら来月1〜15日のお祭りを待つことにしましょう。

福岡動物病院看護士学院 広報課

5月12日 慰霊祭

学院も5年目を迎え、病氣や寿命で天国へ旅立っていく動物たちも出て来ました。彼らはいつも学生たちに実体験で命の素晴らしさを教えてくれました。
昨年他界した先天性腎不全のラブラドル「らぶ」に感謝の意を込め、毎年5月12日に慰霊祭を行うことになりました。
学生一人一人が祭壇に手を合わせ、旅立った動物たちに思いを馳せました。



イベント参加

犬・猫 無料健康診断しつけ教室



5月10日・17日
熊本のペット可マンションのイベントに参加しました。家族であるペットが良い環境に住む為に、「しつけ」と「健康診断」の協力をさせて頂きました。ペット可といってもペットを飼っていない方も住んでいらつしやるので、より良い共同生活がどうやったら出来るのか考えていくことも私達の課題だと思えます。ペットを飼われる方への意識向上に役立つことをこれからも考えていきたいと思っております。

